

## 一宮研伸大学 紀要執筆要項

### (体裁)

第1条 原稿は原則として、現代仮名遣い・常用漢字による和文とする。

第2条 A4版横書きとし、ワードプロセッサで作成する。別添のフォーマットに従って、22字×40行×2段とし、余白を上下24mm程度、左右19mm程度とる。フォントは、タイトルを16ポイント、要旨・キーワードを10ポイント、本文を10.5ポイントとし、和文箇所にはMS明朝を、英文箇所にはTimes New Romanを用いる。

第3条 本文の読点には「、」句点には「。」を用いる。ただし文献リストの文献表記には、原則として「,」と「.」を用いる。原稿中の英数字はすべて半角文字とする。

第4条 専門的な略語を使用する際には、初出時に正式名を書き、それに続いて略語を（ ）内に示す。

### (構成)

第5条 表紙の所定の位置に、別添のフォーマットに従って以下の事項を記載する。

#### A 原書、教育実践研究、その他（招待論文）の場合

論文の種類（原著、教育実践研究、招待論文）、タイトル（和文・英文）、著者の氏名（和文・英文）と所属（和文）、要旨（和文400字程度・英文250語程度）、キーワード（和文・英文）

#### B 総説、教育実践報告、その他（解説）の場合

論文の種類（総説、教育実践報告、解説）、タイトル（和文・英文）、著者の氏名（和文・英文）と所属（和文）、要旨（和文400字程度）、キーワード（和文）

#### C その他（提言、委員会報告、重要な情報の共有等）の場合

論文の種類（提言、委員会報告、重要な情報の共有等）、タイトル（和文）、著者の氏名（和文）と所属（和文）

第6条 原著、教育実践研究はIMRAD（Introduction, Method, Results, and Discussion）に従い、Ⅰ 背景、Ⅱ 方法、Ⅲ 結果、Ⅳ 考察等の見出しをつけて記述する。

第7条 見出しは太字（Bold）とし、Ⅰ 1. 1) (1)の階層順でナンバリングする。

第8条 原稿はそのまま電子製本するため、図表等を含め、レイアウトを適切に整える。ただし頁番号は編集委員会が割り振るため不要である。

### (提出)

第9条 原稿は、原本と査読用を以下のとおり用意して提出する。

#### A 原本

PDF ファイルを1部、編集委員会が示すGoogle formで提出する。

#### B 査読用

著者の氏名と所属、倫理審査の承認番号等、投稿者を特定できる情報を伏字にして印刷したものを2部、事務局の紀要担当者に提出する。

### (文献表記の方法)

第10条 文献を本文中に示す場合には括弧で括って記す。

#### A 学部生以外の場合

APA 方式に準拠して（著者の姓，出版年，ページ）の形式で表記する。ページは「p. XX」と記し、複数ページにわたる場合は「pp. XX-XX」とする。和書、洋書いずれであっても「,」「.」は半角文字とし、直後に半角スペースを空ける（ただしこれらの記号が直後に連続する場合にはスペースは不要である）。著者の数に応じて以下のように表記法を使い分ける。また文中に著者名が現れる場合には、（）内のそれを省略することができる。

例 和書（著者 1 名）	（佐藤，2017，pp. 233-235）
和書（著者 2 名）	（佐藤，山本，2001，p. 12）
和書（著者 3～5 名）	（佐藤，山本，高橋，中村，1991，p. 15）
和書（著者 6 名以上）	（佐藤ら，2003，p. 23）
洋書（著者 1 名）	（Breig，2001，pp. 23-44）
洋書（著者 2 名）	（Breig & Wolf，2002，p. 34）
洋書（著者 3～5 名以上）	（Breig，Collins，& Wolf，2001，pp. 121-123）
洋書（著者 6 名以上）	（Breig et al.，2003，p. 454）
著者の省略	これを佐藤は再検討した（2017，pp. 233-235）。

#### B 学部生の場合

『アカデミック・スキルズ第 3 版——大学生のための知的技法入門』に準拠して（著者の姓 出版年:ページ）の形式で表記する。和書、洋書いずれであっても「:」は半角文字とし、直後に半角スペースを空ける。著者の数に応じて以下のように表記法を使い分ける。また文中に著者名が現れる場合には、（）内のそれを省略することができる。

例 和書（著者 1 名）	（佐藤 2017: 233-235）
和書（著者 2 名）	（佐藤・山本 2001: 12）
和書（著者 3 名以上）	（佐藤他 2003: 23）
洋書（著者 1 名）	（Breig 2001: 23-44）
洋書（著者 2 名）	（Breig and Wolf 2002: 34）
洋書（著者 3 名以上）	（Breig et al. 2003: 454）
著者の省略	これを佐藤は再検討した（2017: 233-235）。

第 11 条 論文の最後に文献リストを付ける。

#### A 学部生以外の場合

APA 方式に準拠して、文献は和書、洋書を一括して著者の姓のアルファベット順に並べ、同一著者の文献が複数ある場合にはさらに出版年順にする。文献毎に改行し、一文献が複数行にまたがる場合には 2 行目以降を全角 2 字下げにする。

##### (1) 和書

原則として「,」「.」「:」は半角文字とし、直後に半角スペースを空ける（ただしこれらの記号が直後に連続する場合にはスペースは不要である）。著者が複数いる場合には「,」で区切る。文献の種類に応じて以下のとおり記載する。

①雑誌論文

著者（出版年）．論文名．雑誌名，巻（号），ページ．（ただしページの p. は省く）

例 曾我洋子（1984）STAI について．看護研究, 17 (2), 107-110.

②論文集の一論文

著者（出版年）．論文名．編者（編），書名（ページ）．出版社．

例 横山千晶（2003）．脚／足の復権——ヴィクトリア朝の歩行文化．武藤浩史，榎沼範久（編），運動＋（反）成長——身体医文化論Ⅱ（pp. 242-267）．慶応義塾大学出版会．

③単行本

著者（出版年）．書名．出版社．

例 鈴木正子（1996）．看護することの哲学．医学書院．

④訳書

原著者（原書出版年）／翻訳者（訳）（訳書出版年）．訳書名，出版社．（ただし原著者は原綴とし、姓を先に、名のイニシャルを後に書き、姓と名の間を「，」で区切る）

例 Thomas, P. (2013)／山形浩生，森岡桜，森本正史（訳）（2014）．21 世紀の資本，みすず書房．

⑤ウェブ上の文書

著者（公表日または最終アップデート日）．文書名．URL [閲覧日]

例 衆議院（2017/6/1）．第 193 回国会 衆議院 憲法審査会会議録 第 7 号会議録．  
<http://kokkai.ndl.go.jp> [2019/7/30 閲覧]

（2）洋書

原則として「，」「．」「：」は半角文字とし、直後に半角スペースを空ける（ただしこれらの記号が直後に連続する場合にはスペースは不要である）。著者は姓を先に、名のイニシャルを後に書き、姓と名の間を「，」で区切る。著者が複数いる場合には「，」で区切り、最後の著者名の前に「，&」を置く。また論文名等の本題と副題との間は「：」で区切る。文献の種類に応じて以下のとおり記載する。

①雑誌論文

著者（出版年）．論文名．雑誌名，巻（号），ページ．（ただしページの p. は省く）

例 Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. *Journal of the American Geriatric Society*, 33, 833-841.

②単行本

著者（出版年）．書名．出版地：出版社．

例 Kane, R. (1996). *The Significance of Free Will*. New York: Oxford University Press.

③論文集の一論文

著者（発行年）．論文名．編者（Ed. 編者複数なら Eds.）．書名（ページ）．出版地：出版社．（ただし編者のみ名姓の順に書く）

例 Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. T. Moore, & E. Simendinger (Eds.). *Managing the nursing shortage: A*



guide to recruitment and retention (pp. 1-2). MD: Aspen.

④ウェブ上の文書

著者（公表日または最終アップデート日）、文書名、URL〔閲覧日〕

例 Wakayama Tourism Federation (n. d.). World Heritage: The Kumano Kodo Pilgrimage Routes (The Official Wakayama Travel Guide).  
<https://en.visitwakayama.jp/themes/world-heritage-the-kumano-kodo-pilgrimage-routes> [retrieved 2019/8/9]

B 学部生の場合

『アカデミック・スキルズ第3版——大学生のための知的技法入門』に準拠して、文献は和書・洋書を一括して出版年順に並べ、文献毎に改行し、一文献が複数行にまたがる場合には2行目以降を全角2字下げにする。

(1) 和書

原則として「，」「．」「：」は全角文字とし、前後にスペースを空ける必要はない。著者が複数いる場合には「，」で区切り、欧米人名が含まれる場合にはカタカナで名・姓の順に記し、間に中グロ「・」を打つ。書名、雑誌名は『 』に、論文名等は「 」に入れて記し、本題と副題との間は「——（2倍ダッシュ）」で区切る。文献の種類によって以下のとおり記載する。

①雑誌論文

著者、出版年、「論文名」、『雑誌名』巻号：ページ（電子版の場合は、URL、取得日）。

例 曾我洋子，1984，「STAIについて」，『看護研究』17巻2号：107-110。

②論文集の一論文

著者、出版年、「論文名」、編者+編、『書名』、出版地：出版社、ページ。

例 横山千晶，2003，「脚／足の復権——ヴィクトリア朝の歩行文化」，武藤浩史，樽沼範久編，『運動＋（反）成長——身体医文化論Ⅱ』，東京：慶応義塾大学出版会，242-267。

③単行本

著者（または編者+編）、出版年、『書名』、出版地：出版社（電子ブックの場合は、版名、取得日）。

例 鈴木正子，1996，『看護することの哲学』，東京：医学書院。

④訳書

原著者、出版年、『書名』、翻訳者+訳、出版地：出版社（電子ブックの場合は、版名、取得日）。

例 トマ・ピケティ，2014，『21世紀の資本』，山形浩生，森岡桜，森本正史訳，東京：みすず書房（Maruzen eBook Library版，2019年7月29日取得）。

⑤事典項目（冊子体）

著者（不明の場合は著者不明）、出版年、「項目名」、『事典名』巻、ページ。

例 ウィントン・ディーン，1994，「批評」，『ニューグローヴ世界音楽大事典』

14 卷, 202-212.

⑥事典項目（オンライン）

著者（不明の場合は著者不明），最終アップデート年，「項目名」，『事典名』（URL，取得日）。

例 吉田精一，2006，「与謝野晶子」，『ブリタニカ・オンライン・ジャパン』（<https://www.britannica.co.jp/online/bolj/>，2019 年 7 月 30 日取得）。

⑦新聞記事

著者（記名記事でない場合は社名），出版年，「記事名」，『新聞名』，発行日，版や巻，ページ（電子版の場合は、データベース名，URL，取得日）。

例 鶴光太郎，2019，「働き方改革と生産性向上 従業員の理解、業績に直結（経済教室）」，『日本経済新聞』，2019 年 7 月 5 日，日刊，25。

⑧ウェブ上の文書

著者（または発行者），公表年または最終アップデート年，「文書名」，必要に応じて文書作成日（URL，取得日）。

例 衆議院，2017，「第 193 回国会 衆議院 憲法審査会会議録 第 7 号会議録」，2017 年 6 月 1 日（<http://kokkai.ndl.go.jp>，2019 年 7 月 30 日取得）。

（2）洋書

原則として「，」「.」「:」は半角文字とし、直後に半角スペースを空ける（ただしこれらの記号が直後に連続する場合にはスペースは不要である）。筆頭著者は姓・名の順に書き、姓と名の間を「，」で区切る。2 人目以下はその国の習慣に従って名・姓の順に記して間に半角スペースをとり、著者が複数いる場合には「，」で区切り、最後の著者名の前に「， and」を置く。書名、雑誌名はイタリック体（斜体）で、論文名等は“ ”に入れて記し、本題と副題との間は「:」で区切る。記載項目は和書に倣い、文献の種類によって以下のとおり記載する。

①雑誌論文

著者，出版年，“論文名”，雑誌名，巻号：ページ（電子版の場合は、URL，取得日）。

例 Hedger, Stephen C., Shannon L. M. Heald, and Howard C. Nubaum, 2013, “Absolute Pitch May Not Be So Absolute”, *Psychological Science* 24, no. 8: 1496-1502(JSTOR, <https://www.jstor.org>, retrieved July 16, 2019).

②論文集の一論文

著者，出版年，“論文名”，編者，書名，出版地：出版社，ページ。

例 Notomi, Noburu, 2004, “Ethical Examination in Context: The Criticism of Crtias in Plato’s Charmides”, Maurizio Migliori, Linda M. Napolitano Valditara eds., *Plato Ethicus: Philosophy is Life*, Sankt Augustin: Academia Verlag, 245-254.

③単行本

著者（または編者），出版年，書名，出版地：出版社（電子ブックの場合は、版名，取得日）。

例 Kane, Robert, 1996, *The Significance of Free Will*, New York: Oxford University Press.

④事典項目（オンライン）

著者（不明の場合は著者不明），出版年，“項目名”，事典名（URL，取得日）。

例 Ellen Rosand, Beth L. Glixon, 2002, “Strozzi, Barbara [Valle, Barbara]”, *Grove Music Online* (Oxford Music Online, <https://www.oxfordmusiconline.com>, retrieved July 30, 2019).

⑤新聞記事

著者（記名記事でない場合は社名），出版年，“記事名”，新聞名，発行日，版や巻，ページ（電子版の場合は、データベース名，URL，取得日）。

例 Melissa Eddy, 2013, “East German Model City Rusts, Quarter-Century After Berlin Wall’s Fall”, *New York Times*, Nov 4, 2013, A6 (ProQuest Historical Newspapers, <https://www.proquest.com/products-services/pq-hist-news.html>, retrieved August 1, 2019).

⑥ウェブ上の文書

著者（または発行者），公表年または最終アップデート年，“文書名”，必要に応じて文書作成日（URL，取得日）。

例 Wakayama Tourism Federation, n. d. “World Heritage: The Kumano Kodo Pilgrimage Routes” (The Official Wakayama Travel Guide, <https://en.visitwakayama.jp/themes/world-heritage-the-kumano-kodo-pilgrimage-routes>, retrieved August 9, 2019).

附 則

この要項は、令和3年7月21日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年7月20日から施行する。





A grid of 15 rows and 20 columns of small circles, totaling 300 circles. The circles are arranged in a uniform pattern, with 20 circles in each row and 15 rows in total.

### III 結果 MS 明朝 10.5 ポイント太字

A grid of 20 rows and 20 columns of small circles, totaling 400 circles. The circles are arranged in a uniform pattern, with 20 circles per row and 20 circles per column. The circles are light gray and have a thin black outline. The grid is centered on the page.

## IV 考察 MS 明朝 10.5 ポイント太字

A handwriting practice grid consisting of five rows and twenty columns of small, empty circles. The circles are arranged in a regular, repeating pattern across the entire grid.



